

## 平成 30 年度 学校関係者評価のまとめ

【○：肯定評価 ●：改善を要する評価 ★：学校としての対応策】

### 1 学校運営全般（開かれた学校）について

- 「生徒数が県内一多い」、「教職員数が多い」という大規模校でありながら、人的・物的環境を活用しながら能動的な学校経営が行われている。
- 学校は、保護者や地域に学校の教育活動や生徒の様子について積極的に情報を発信し、「開かれた学校づくり」に努めている。
- 保護者アンケート結果から分かるように、ホームページ、各種便り、メール配信等により教育方針、生徒の活動の様子、家庭への連絡等の情報提供をきめ細かく行っている。
  - ★ 今後も、ホームページや各種便り等の内容の充実を図りながら積極的な情報発信に努め、学校の教育活動について保護者や地域の理解が得られるようにしていきたい。
- 「家庭との連携を密にして共に子どもを育てようという姿勢をもって取り組んでいる」の項目は、他の項目と比べて保護者アンケートの評価がやや低かった。この結果を謙虚に受け止め、家庭との連携を深めてほしい。
  - ★ より一層丁寧な対応、生徒や保護者の心情に寄り添った対応、コミュニケーションの充実にも努め、効果的な指導が行えるようにしていきたい。

### 2 学習指導等

- 保護者アンケートでは「授業を充実させ生徒の学力向上に努めている」の項目で 88.0 %の肯定的な回答を得ている。
  - ★ 教職員自己評価では「生徒が能動的に学ぶ授業づくり」、「教材教具の工夫や I C T機器の活用」がやや低い結果となっていることから、本校生徒の実態を捉え、「主体的・対話的で深い学び」のために授業の工夫・改善に努めたい。
  - ★ 教職員自己評価では、「学年に応じた将来の生き方や進路に関する指導の充実」のやや低かった。特別活動や総合的な学習を中心に、体験活動や問題解決的な学習を取り入れ、生徒が将来の生き方や進路について主体的に考えたり選択したりすることができるよう、キャリア教育の充実を目指したい。
- 教職員自己評価では「学習意欲を高めるための工夫・分かりやすい授業の実践」が高い評価になっているが、保護者アンケートでは「おさんは意欲的に学習に取り組んでいる」についての肯定的な回答は 70.8 %にとどまっている。生徒が学習に集中するような雰囲気づくりを推進してほしい。
  - ★ 生徒の本質的な意欲向上のために、分かる授業の実践、授業を通して知的好奇心を高める工夫を一層推進するとともに、家庭での学習についても「家庭学習スタンダード」等を活用して充実するよう指導していきたい。

### 3 生徒指導・心の教育

- 規範意識を育む指導、基本的な生活習慣を養う指導、勤労・奉仕的な活動を重視した指導に積極的に取り組んでいる。保護者アンケートにおいても、「思いやりや協力、社会のルールを守る態度等、心を育てる指導を行っている」の項目は、88.5 %の肯定的な評価を得た。
  - ★ 保護者アンケートで「家庭では、しつけや基本的な生活習慣などを重視して指導している」の質問に 95.9 %が肯定的な回答をしていることから、学校と家庭が共通理解を図り、連携した指導を継続したい。

- 「一人ひとりの子どもの理解に努め、適切に対応や指導を行っている」の項目は、他と比べて保護者アンケートの評価がやや低かった（肯定的な評価 80.9 %）。教職員の自己評価においても、不登校対策として「生徒や保護者の不安や悩みに耳を傾けて適切な援助や指導をする」、「家庭訪問を速やかに行うなど、生徒・保護者の心を大切にされた対応をする」の評価がやや低かったことから、改善の余地がある。

- ★ カウンセリングマインドをもち、当事者の気持ちにより添った対応をすることが生徒指導の基本であることを再確認するとともに、生徒・保護者の意識や価値観が多様化していることを踏まえ、より一層生徒理解・家庭環境等の理解に努めていきたい。

#### 4 教育環境について

- 施設設備の点検・整備、緊急時に備えた安全対策、外部からの侵入者への配慮など、子どもたちが安心して生活できる環境づくりに努めている。保護者アンケートにおいても、87.4 %の肯定的な評価を得ている。

- 保護者アンケートにおいて「施設設備の充実」に関してはやや低い評価だった。施設設備の充実や修繕に関する要望等は、必要に応じて花立会やPTA本部役員等に相談して改善を図ってほしい。

- ★ 定期的に行う安全点検や日常点検を丁寧に行い、安全管理に努める。教育委員会の施設整備課や学校支援課との連携を密にし、可能な範囲で施設設備の充実を図ってきたい。

#### 5 生徒の活動について

- 部活動をはじめとして、生徒が努力する姿や各種大会やコンクール等での成果、心の成長は素晴らしい。保護者アンケートにおいても、生徒の活動について「ルール、マナー等を意識した生活」、「部活動や係活動への積極的な参加」、「好ましい交友関係」、「楽しく充実した学校生活」の項目で肯定的な評価が 90 %を超える結果となった。「認め・褒める指導」を大切にしながら、子どもたちの更なる成長を促してほしい。

- ★ 学校全体としてもおおむね落ち着いた雰囲気があり、諸活動に意欲的の取り組む生徒も多い。しかし、評価（価値観）が生徒・保護者と教職員との間で隔たりがある部分もある。これを互いに共有できるように努めたい。まずは、生徒の自己肯定感を高める指導を次年度の最重要課題としたい。